

## 第7回部長会議要約

日 時	平成27年1月13日(火) 午後3時～
場 所	市役所別館3階会議室
出席者	中野市長、吉田副市長、馬場副市長、吉原教育長、塩野上下水道事業管理者、各部長
欠席者	経済環境部長
案 件	1 政策推進部 ・ 休日開庁(試行)の取組について ・ 市民意識調査の集計結果報告について
その他	○市長より

### 【中野市長】

- ・ 新年から10日ほど経ち、昨日成人式ということで、正月気分もスッと抜けまして、訓示でも申し上げましたように、本日もいよいよサンヒル関係の整理問題、そして市長室の方では理事者の予算査定ということで、査定中に本当に感じますことは、いよいよ自治体も厳しい状況になることを体感しながら、やはり目を引きますのは、特に都市整備を中心とした維持管理の問題、これがいよいよ迫ってきております。身近な例で言いますと、堅下北小学校のプールが8千万円ほどかかる。かつてであれば修理かという状況であったのが、そのあり方についても考えていかなければいけない。これは、各担当課同じと思います。非常に厳しい査定を行っていかねばならない。そして、いよいよ病院も厳しい状況ということで、年末に申しましたように、柏原の総資産の整理をこの2年間で色々と皆さんの知恵も借りながら計画した状態を4月からどのように出していくかという段階で、本当に部長の皆さん方の能力を遺憾なく発揮していただかなければ、持ちこたえられません。本当に話をするたびに悲観的な話で、これは取り方によってはネガティブなことばかりと取れるが、そうではなく、そのネガティブなのを逆に攻勢に転じるということを含んでいますので、どうか暗い気持ちにならずに、前向きに部長各位の英知を結集していただいて、この時期を乗り越えていただきますよう、お願いいたします。

## 案件1 政策推進部

### ○ 休日開庁（試行）の取組について

#### 【政策推進部長】

- ・ 昨年に引き続き、今年度についても年度末、年度初めということで、3月28日（土）、29日（日）、そして4月4日（土）、5日（日）、いずれも午前9時から正午という時間帯で実施。
- ・ 取扱業務の内容については、資料のとおり。
- ・ 昨年よりも日数を増やし、取扱事務についても、教育総務課等にも参加していただき、取扱業務の充実を図っている。
- ・ 取扱業務の担当課、また関連してシステム担当の情報政策課、庁舎管理の総務課にもこの日は担当職員に出勤していただくということで対応していきたい。
- ・ 市民への周知については、広報等できっちりと実施して、転入、転出が多い時期ですが、市民サービスの充実ということを心がけて取り組んで参りたいと考えている。

### ○ 市民意識調査の集計結果報告について

- ・ 第4次柏原市総合計画の中でも取っており、定期的に項目ごとに市民意識、満足感、重要度をピックアップして数値化している。
- ・ 今、各部長におかれましては、部長マニフェストの評価の段階ですので、マニフェストの中身について各部長に記載をお願いしておりますが、アウトプット、アウトカムの所でこういった集計表をご活用いただければと考えている。
- ・ 市民意識調査を実施したのは平成26年12月4日から12月24日で、18歳以上の約1000名に調査票を送らせていただいた。内、回答が422名で、年齢構成等を見ていただいたら、やはり記載をいただいている方は50～70歳代が積極的に回答をいただいている。
- ・ 7ページに、前回調査結果と今回調査結果との比較を記載している。また、10ページには満足度と重要度のかい離が大きい順位を掲載している。市民の方のこういった項目ごとに対する満足度合い、また重要視している度合い等を施策の参考にしていただきたい。
- ・ 最後に、11ページ、12ページで、良いと感じるところ、改善すべきところを記載していただいている。やはり、柏原市の良いところは、「自然環境が豊かである」、「公共交通機関が充実している」、「かしわら花火等のイベントのが豊富である」というようなことが上がっている。4番目の「買い物など、日常生活が便利である」という部分は、改善すべきところとして「不便を感じる」として上位に挙がっているが、これは住んでおられる場所にもよるので、表裏があるという点も参考にしていただきたい。

(2点まとめでの質疑)

【財務部長】

- ・ 休日開庁について、昨年も3月末と4月初めの日曜日に開庁したと思うが、その時の来庁者数は課ごとにどの程度だったのか。

【政策推進部長】

- ・ 来庁者数は、3月30日が32名で41件、4月6日が28名で37件。一番多いのが市民課の各種証明書の発行で20件程度、住民票の異動届出関係が10件程度で、市民課関係が多くを占めている状況。

【財務部長】

- ・ 3月30日が32名、4月6日が28名ということで、半日あれば十分こなせる人数ですが、今回これを4日に広げ、なおかつ事務を広げようということで、事務を拡大する必要があるのか疑問に思うところもあるが、今回4日に拡大しようと考えた理由は何か。

【政策推進部長】

- ・ これは、あくまでも試行であり、昨年の実績が多いのか少ないのかは、それぞれ判断が違おうと思うが、今回倍に増やして4日間実施することによって、どんな動きがあるかを参考にしたい。3月末と4月頭というところなんですけど、周辺の状況を見ても4日間ぐらいは最低開庁しているところが多く、試行の段階なので、4日間に広げたいうえできちんと判断したい。

【財務部長】

- ・ 試行ということなので、色々やってみてどのぐらいの利用があるか。去年は初めて実施したので、再度試行されるということは良いことだと思うし、近隣市がほとんど年末年始だけではなく毎月開庁日を作っているが、本当に土日にここまでの需要があるのか若干疑問がある。昨年3月の開庁日に来たが、来られる市民よりも職員の数の方が圧倒的に多かった。今後試行を繰り返したうえで、縮減できるところは縮減したらいいのではと感じているので、今年は試行で、去年が1回目ということを含めて、やっていただいたらいいかと思う。

【政策推進部長】

- ・ 今回は休日開庁の試行であるが、去年は時間の延長、時間外の開庁をしていただいており、それについて一定の検証を行った上で、今回についてはそれほど要望がなかったということで（時間延長は）行っていないが、それらも参考にしていきたい。

**【総務部長】**

- ・ 資料の中に、取扱業務の担当課、関係課の中で「その他関係課」とあるが、想定されている課があるのか。

**【事務局】**

- ・ 昨年の例で申し上げますと、地域連携支援課のフロアマネージャーにお手伝いいただいたので、今年についてはそこまで必要ではないのではないかと検討されており、まだお願いするべきかどうかという結論は出ていませんので、そのような記載となっております。

**【総務部長】**

- ・ ということは、その他関係課というのはその部分だけのことか。

**【事務局】**

- ・ 窓口としてお願いするのは、資料のとおり5課、そのサポートで関係課として何課かお願いすることになります。

**【市長】**

- ・ 来られた市民は、ワンストップでいけるのか。例えば、学校関係になると思うが、また後日ということにならないのか。

**【政策推進部長】**

- ・ 資料に記載の業務については受けていただいております、取扱いできる業務を十分に周知する必要はありますので、広報等できちんと周知してまいります。

**【市長】**

- ・ 職員の体制さえ揃えればワンストップでいけるという場合、今どんなことがあるのか。

**【政策推進部長】**

- ・ ワンストップと申しますか、転入・転出が多いですので、それに付随する案件については、できるだけ取り扱おうということでピックアップしているのですが、通常の相談業務等を除けば、十分にこの業務でいけると考えています。

**【市長】**

- ・ 開庁することによって、転校（転出）の手続きは？

**【学校教育部長】**

- ・ 転校の手続きは、教育委員会ですべてから、各学校に行っていたかなければならないので、学校は同時に休日開校していないので、一旦教育総務の手続きで終わっていただいて、後日転校の手続きを学校にさせていただくことになります。

**【市長】**

- ・ 先ほど財務部長から質問があったが、試行するのであれば、時間帯もデータを取ってやっていただきたい。

○その他

**【市長】**

- ・ 来年度の国の予算が閣議決定されたが、各担当課でも、各関係省庁の情報収集を必ずやっておいてください。市長室で気が付いていない部分で予算取り、補助があるのではないかと提言を必ずしてください。改めて副市長に指示を出してもらおうが、各担当課でアンテナをあげておいてください。あとで、「こんなことがあったのに」ということがないように絶対にしてください。大阪府の方はあまり予算がないが、国の方は地方に對しかなり手厚い部分が出ておりますので、その辺よろしくお願いします。特に都市整備、デザイン関係は注目しておいてください。

**【司会者から他に案件等がないか確認後、会議終了】**